

議会だより

55

のとちょう

2019. 2. 1

新しい議会構成 2-3
12月定例会議・11月会議 4-5
12月定例会議一般質問 6-12
常任委員会レポート 13
主な議会活動 14
議案をチェック 15
まちかどインタビュー
編集後記 16



奥能登のあえのこと
能登のアメハギ
能登町消防団出初式
弥栄太鼓初打ち奉納
宇出津港のと寒ぶりまつり

新しい議会構成

2018.11.6～



能登町議会副議長 國盛 孝昭

このたび、副議長に就任させていただき、円滑な議会運営と、議会改革を推進し、町民の皆さまにとって身近な議会となるよう取り組んでまいります。

議会広報や、ホームページでは、町議会に関するさまざまな情報を掲載しております。町民の皆さまには、議会についてご理解を深めていただければ幸いです。

議長を補佐し、住んで良かったまち、住み続けられるまちづくりのため、知恵を出し、誠心誠意努めてまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。



能登町議会議長 河田 信彰

日差しにも春の訪れを感じるようになりました。町民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のことと心からお慶び申し上げます。

改選後の初議会におきまして議長に就任いたしました。あらためてその職責の重大さを痛感しております。

町民の代表として議会の果たすべき役割を十分に認識し、その負託に応えるべく、より開かれた議会の実現を目指していきたいと思いますので、どうか町民の皆さまのご意見をお聞かせください。

教育厚生常任委員会

住民課、健康福祉課、教育委員会、上下水道課、公立宇出津総合病院などに関する諸問題を協議しています。



委員長
田端 雄市



副委員長
馬場 等



委員
堂前 利昭



委員
金七 祐太郎



委員
市濱 等



委員
向峠 茂人



委員
鍛冶谷 眞一

総務産業建設常任委員会

総務課、企画財政課、監理課、税務課、広報情報推進課、会計課、農林水産課、建設課、ふるさと振興課、農業委員会などに関する諸問題を協議しています。



委員長
國盛 孝昭



副委員長
吉田 義法



委員
小路 政敏



委員
酒元 法子



委員
河田 信彰



委員
志幸 松栄



委員
宮田 勝三

● 議会運営委員会

議会を円滑に運営するために、議会日程、議案、請願、意見書の取り扱いなどに関して審査しています。

- 委員長 向峠 茂人
 副委員長 金七 祐太郎
 委員 田端 雄市
 委員 國盛 孝昭
 委員 小路 政敏
 委員 宮田 勝三

● 広報編集特別委員会

町民の皆様によりわかりやすい広報誌となるよう努力しています。

- 委員長 酒元 法子
 副委員長 堂前 利昭
 委員 吉田 義法
 委員 馬場 等
 委員 河田 信彰
 委員 鍛冶谷 眞一

● 能登町監査委員

町の事業や財務について監査しています。

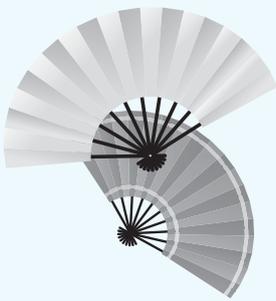
- 監査委員 鍛冶谷 眞一

● その他の役職

● 奥能登広域圏事務組合

組合議会の議員は、輪島市2人、珠洲市2人、能登町2人、穴水町1人をもって組織し、4市町で共同処理する事務について協議しています。

- 向峠 茂人
 宮田 勝三



● 奥能登クリーン組合

組合議会の議員は、珠洲市6人、能登町6人をもって組織し、共同処理する事務について協議しています。

- 馬場 等
 金七 祐太郎
 市濱 等
 小路 政敏
 酒元 法子
 河田 信彰

● のと鉄道運営助成基金

組合議会の議員は、七尾市1人、輪島市1人、珠洲市1人、穴水町1人、能登町1人をもって組織し、共同処理する事務について協議しています。

- 馬場 等

● 国保運営協議会委員

国民健康保険の健全な運営について協議しています。

- 吉田 義法
 堂前 利昭
 馬場 等

● 社会福祉協議会役員

社会福祉協議会の健全な運営について協議しています。

- 田端 雄市



一般会計

10億5171万円

補正予算可決

平成30年度の総額予算 198億3850万7千円

一般会計補正予算

- 議会費 199万6千円
議会費で人件費の調整 など
- 総務費 1586万3千円
総務管理費で人件費の調整、選挙費で石川県議選の準備費を追加 など
- 民生費 405万5千円
社会福祉費で要援護者等支援事業、児童福祉費で子ども医療費給付事業を追加 など
- 衛生費 518万8千円
環境衛生費で墓地公園管理費を追加 など
- 農林水産業費 213万円
農業費、水産業費で工事及び修繕工事を追加 など
- 商工費 △105万円
商工費で人件費の減額 など
- 土木費 △5222万1千円
道路橋りょう費で除雪業務の一部を社会資本整備総合交付金事業等に組替 など
- 教育費 1億6505万円
小学校費で空調設備工事についての監理費及び工事費を追加 など

平成30年第2回能登町議会12月定例会議が開催され、議案13件、諮問2件が提出された。議案については、今年度の補正予算（一般会計・特別会計）、その他条例改正など、諮問については、人権擁護委員候補者の推薦についてであり、議案は各常任委員会により審査し、最終日に全議案を可決及び適任とした。最終日に委員会から条例改正についての追加議案が1件あり可決とした。11日には7人の議員が町政全般について一般質問を行った。

- 災害復旧費 1653万2千円
公共土木施設災害復旧費で災害査定に伴う追加 など
- 公債費 8億9416万7千円
公債費で将来の公債費負担を軽減するため繰上償還金を追加 など

特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計 272万6千円
- 後期高齢者医療特別会計 1万7千円
- 農業集落排水事業特別会計 △3787万7千円

人権擁護委員候補者の推薦について（諮問）

本谷 憲市（真脇）
坂尻 敏枝（小間生）

【11月会議】 6日

平成30年11月6日、改選後初めての議会となる平成30年第1回能登町議会11月会議を開会し、議長及び副議長の選挙、各委員会委員及び監査委員の選任などを行った。

（詳細については2・3ページをご参照ください）



いっばん質問

12月定例会議の一般質問（11日）

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

問 保育料、学校給食費の無償化を

答 国の動向を見ながら慎重に検討

問 少子高齢化が進んでおり2045年には能登町の人口は約1万人減少し7千人台になると推計されている。増減率は県内ワースト1位である。このため子育てしやすい環境を整え若者世代の定住促進を図ることが重要だと考える。中学校を卒業するまでの子どもたちの保護者に対する支援制度・事業について町独自の制度はあるか。支援や事業を受けることができる対象者にはどのように周知されているのか。子育て環境をさらに充実させるために保育料と学校給食費を無償化できないか。



吉田 義法 議員

答 町長 妊産婦乳幼児健診や学童保育事業など安心して子育てができる環境づくりに努めている。町独自の制度として子ども医療費給付事業におき対象年齢を18歳までに拡大し自己負担金を無料としている。また、経済的な理由で就学困難な児童生徒を対象にした就学援助制度があり学用品費、給食費、修学旅行費などを支援している。これらの事業について大部分は「広報のと」などで周知している。保育料については3歳から5歳までの子どもを対象に2019年10月より無償化実施の方針が示されているので国の動向を見ながら慎重に検討する。給食費については今後も保護者に負担してもらいたいと考えている。

問 昨年までの除雪状況を見ると路線の業者の割振りや町村合併前のままや除雪が必要なくなった路線があると思われる。このため今一度、路線の状況確認をし割振りの見直しが必要だと考える。また、常に道路に雪がない状態であることは望ましいが、費用が掛かることなので向こう2日程度の天候を踏まえ除雪することにより費用の節約を図る必要があると考える。このことについては町民の皆さんに丁寧な説明を行いご理解いただけるように努めるとともに、より一層効率の良い除雪体制を整える必要があると考える。町の見解は。



町道を除雪する業者

問 除雪体制について見直しを

答 関係機関との協議により検討

答 町長 毎年、能登町道路除雪実施計画に基づき冬期間の交通の確保を図り産業経済の振興と民生の安全を確保することを目的として道路除雪を実施している。今年11月9日に道路除雪計画会議を開催し11月21日除雪会議を開催し委託業者へ説明会を行った。12月1日より除雪対策本部を設置し大雪警報が発令された際は職員が待機し関係機関との連絡調整ができる体制を整えている。路線担当業者の割振りの見直しは各地区建設業協会との協議により検討したい。



馬場 等 議員

問 今年度の一般会計予算について

答 大型事業により増加

問

今年度の一般会計は12月分の補正分を入れれば約198億円という過去最大の予算となります。この予算規模に対して、どのように考えるか。

答 町長

大型事業が続く平成34年度までは、一般会計の予算規模が大きくなるものと考えている。しかしながら、税収や地方交付税などの一般財源は限ら

れているので、平成31年度当初予算の編成方針においては、10年ぶりに各課局にマイナスシーリング(※)を設定し、さらなる行財政改革を推進しなければならぬと考えている。

※マイナスシーリング：予算要求限度額を前年度比でマイナスとし、歳出予算の総額を抑える方式

(月間収入)		(月間支出)	
基本給与 (町税)	6万円	食費 (人件費)	8万円
家賃収入やパート収入 (分担金、負担金、使用料、手数料)	4万円	医療費・保育費 (扶助費)	4万円
貯金の取り崩し (繰入金)	2万円	光熱水費 (物件費)	7万円
実家からの援助 (地方交付税、国庫、県支出金等)	38万円	修繕費 (投資的経費、維持補修費)	16万円
月収合計	50万円	子どもへの仕送り (補助金、特別会計への繰り出し金)	15万円
借入金 (町債)	14万円	貯金 (積立金)	2万円
収入合計	64万円	ローン返済 (公債費)	11万円
		支出合計	63万円

ローン残高(町債残高)	973万
預金残高(基金残高)	329万

平成29年度の決算を月収50万円の家庭に置き換えたら

問 能登町公共施設等総合管理計画は

答 平成28年度に策定している

問

計画を実行するための推進体制として、施設全体を把握し、一元的に管理する総括組織及び長は設置しているか。

答 町長

一元的に管理する総括組織及び長は現在設置していない。この計画を作成するにあたり、各課から横断的に職員を募りワーキンググループを形成している。現在はこの計画に沿って遊休施設は順次解体等を実施している。

問 他質問

町長によるトップセー
ルスは

新聞で町長の日程を見ていると、他の首長と比べても行財政用語で県外に行かれることが多いと思います。町長自ら能登町のアピールや企業誘致のお願いを行うことはあるか。

答 町長

企業訪問についてはしていない
特に企業訪問ということはありません。石川県人会や、金沢能登町会の集まりの場などを借りて、町への誘致を積極的にPRもしている。まだ誘致に至る結果というものは出ていない。企業誘致というのはあくまでも相手側の事情による部分が非常に大きいものがあるかと考えている。



田端 雄市 議員

問 エアコン設備の設置について

答 夏までに供用開始したい

問

今年の猛暑に対して、国は、補正予算で、すべての小中学校の教室に対応できるものとした。来年、夏までの設置を目指しているものと考えているが、本町の取組みは？

答 教育長

学校行事に支障が出ないよう、業者と協議し、意思疎通を図りながら、保護者の理解を得られるよう工事を進め、夏前までに使用できるようにしたい。

問 就学援助費の支給時期について

答 平成31年3月に支給する

問

児童・生徒の家庭の経済状態にかかわらず、等しく教育を受ける権利がある、この趣旨を実現するためのものとして、就学援助費がある。

3月の答弁で、来年の新入学時に支給するとのことであったが、

答 教育長

新入学予定の児童生徒に、新入学準備金を平成31年3月に支給する。現在（12月中）、申請を受付中であり、年明けに審査、3月に支給することとなっている。また、入学後は、給食費、学用品等の支給をする。

問 その他質問

肺炎球菌ワクチン接種について

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成制度が来年3月で終了する。

その後は、対象者は、65歳の方のみとなる。本町の未接種者は、約70%もおられる。高齢者の健康寿命を延ばす、医療費の軽減の観点から町独自の任意の助成制度を設けたいかどうか。

答 町長

任意の予防接種助成はできないか

この予防接種については、国の制度に遅れないよう協力医療機関へのお願い、対象者への個別案内などしてきた。国もメディアを通して周知し、勧奨してきた。何より任意の接種であるため、強力に進められなかったこともある。今後の町独自の任意予防接種は、考えていないが、県下の状況を見ながら検討したい。



真新しいランドセルで登校する新一年生

問 現在、空いている町の公共施設の今後の利活用について

答 利活用するものと解体するものがある

問

数年前にクロマルハナバチの飼育施設を整備し多額の予算が使われているが、今施設は使用していないと聞く。今後クロマルハナバチの施設はどう活用するのか具体策を聞きたい。

答 町長

平成18年政府は、日本で輸入しているセイヨウオオマルハナバチを特定外来種に指定し、使用を

制限したことで、今後は

輸入禁止措置がとられ、日本在来種の需要が高まると見込み、当町では平成19年度に日本在来種クロマルハナバチの試験飼育事業を旧三波小学校の校舎を改修し設備の改修を行った。国では特定外来種輸入禁止措置がとられず、市場拡大ができなく、平成24年度に事業を休止し現在に至っている。ただ、生産飼育の機能

を持つほかにない貴重な施設であり、現在その施設は能登町の民間事業者が施設改修をした一部を利用しまして新規事業に取り組んでいる。今後についても建物の耐用年数

期間があるまでは、このような生産施設としての取り組みをする事業者に向けて活用してもらいたい。



堂前 利昭 議員



旧三波小学校

問

耐震工事を行った施設は、しっかりと利用されているのか、空いている施設はないのか。

答 町長

町有施設で耐震補強工事を実施した施設は、すべて利活用されており空いている施設はないとい

問

町の公共施設で空いている建物は今後どうするののか。

答 町長

町の公共施設で現在使用されていない、近年老朽化が顕著な28棟の解体を実施しており、景観や安全性の確保に努めている。また今後も使用する見込みのない遊休施設は26棟あり、これからも同様に年次計画を持って解体を進めていく予定している。

また解体するのみではなく、新たな利用方法を見出すことも重要と考え

うことであります。

具体的には、小中学校で7校、その他の施設といたしまして、こども未来センター、柳田山村開発センター、柳田情報センター、崎山山村開発センターの4施設が、該当しておりますが、いずれも有効に活用している。

ている。現在、旧保育所を地元民間企業に貸し出しており、眠っている町有財産に新たな価値を与え、地域社会に貢献しながらモデルケースとなっている。

人口減少や町村合併で使用されなくなった遊休施設に無駄な維持費を使わないために解体することとは、当然であるが、地域の活性化や地元企業等の支援の一助となるようなケースには貸し出しもひとつの利用方法ではないかと考えている。



市濱 等 議員

問 宮崎海岸保全対策を問う

答 住民の不安を早急に解消したい

問

宮崎海岸は護岸全体の老朽化が著しい。早急な対策が必要だ。特に白丸向出地区の護岸は、護岸の高さも低く老朽化が激しい。早急な対策が必要だ。

答 町長

国も社会インフラの老朽化対策に重点的に取り組み、長寿命化計画を策定し対応を急いでいる。特に向出地区の護岸は、高さも低く、消波施設もないため、高潮対策、長寿命化計画を並行して進めている。



宮崎海岸（白丸向出地区）

問 町独自の起業家育成制度創設を

答 国県金融公庫等支援体制が充実

問

少子高齢化、人口減少に歯止めをかけるには、町出身者、起業家を目指す若い人に対して、独自の制度を設け支援する体制ができないか。

答 町長

起業家を目指す人たちには、多くの支援体制がある。産業競争力強化法に基づき、創業支援事業計画を策定し、金融機関、町商工会、金沢大学と連携し、資金調達、販路開拓等創業希望者の要望に応じた支援を行う。また県産業創出支援機構、日本政策金融公庫とも連携し、のと創業応援ネットワークを構築し、創業計画、創業セミナー等を実施している。

問 その他質問

借り上げ住宅制度とは 借り上げ住宅入居者は町民税を納付するが、町が支援する補助金が上りこの制度にどのような合理性があるのか。また約2年経過しているが、現在の入居率はどうか、入居退室の状況は、どのような方々が入居されているのか、入居者の実態

答 町長

は、入居者の減免はほかの公営住宅入居者と公平、平等になるのか。本来の定住住宅政策になかった運営を期待したい。

次世代に対する投資的政策だ 人口減少対策、将来町を担う世代への投資的政策で、入居率については

36戸中、34戸が入居しており、94・4%です。入居者の実態は、地域おこし協力隊や、Uターン者、ALTその他で、34戸中17戸が減免の対象者で、半数が対象外である。各々の住宅制度であって対比することはできません。



志幸 松栄 議員

問 能登消防署の救急体制について

答 消防本部と十分協議し見直していきたい

問

過去5年間の救急出動状況は、また救急救命士の確保は、さらに管内1署2分署を維持していくための人員を問う。

答 町長

出動状況は、毎年800件前後であり、一日平均2・2回の出動です。また救命士は19名であり現在のところ充足しているが、引き続き救命士を

養成していきたい。さらに今後の維持体制として、必要性が生じた時には本部と十分協議を進める。



緊急時の出動に備える能登消防署

問 出前講座の活用について

答 広く周知ししっかりと努めていきたい

問

出前講座の開講実績は、また出前講座制度の啓発方法を問う

答 教育委員会事務局長

実績として昨年度は講座数97講座、受講件数127件で、前年度より8件の増である。本年度は途中だが、昨年度より増加する見込みであり、件数の中身は消防、防災関係が多く、次いで福祉関係等の依頼もある。

答 町長

啓発方法については、町広報またホームページ等に掲載し、広く周知を図っているところであり、受講の機会を得ることができるようしっかりと努めていきたい。



鍛冶谷 眞一 議員

問 新統合庁舎の周辺整備について

答 基本構想に基づき進める

問 商工会や第2駐車場の新設など、当初予定から随分変わったが、駐車場の配置を聞く。

答 町長 平成31年度完了の都市計画道路としていたが整備完了が見込めないのが見送ることにした。新たな街路整備として変更手続きを進めて実施したい。

問 こども未来センターから新庁舎の方に行く街路や橋の架け替えの計画はどうか。

答 町長 この橋はコンセール前



建設が進む新統合庁舎

問 能登町役場の跡地利用について、アンケート調査や金大教授を中心に数名の町議や団体代表などで組織する『役場跡地利活用検討委員会』の協議があったようだがその方向を聞く。

答 町長 7月に『役場跡地利活用検討委員会』を総勢12名で立ち上げた。第2回目の会議では能登高校生

の自由な発想の意見発表を聞いたり町民の皆様からの意見応募の結果も報告された。

委員会では、既存庁舎については取り壊し、その後の利活用を考えると、いうことで意見統一されたと聞いている。多様な意見が集まっているが委員会では整備方針が報告されたら町も期待にこたえるよう努力する。

答 町長 来庁者駐車場については基本構想で算出した総数を確保する。公用車については敷地内に必要台数分を確保。職員には広域消防宇出津分署の敷地を予定。

問 バスも通行する『城都橋』のすぐ下流に架ける橋は1億円以上もかかり、財投効果も低いし街路の流れも混雑を招く。木製歩道橋や護岸の河川管理道で再検討できないか。

答 町長 この橋はコンセール前

問 能登町役場の跡地利用について

答 検討委員会の方向は取り壊しで意見統一



跡地の利活用が検討される現能都庁舎

建設委員 総務産業委員会

國盛孝昭 (委員長)
 吉田義法 (副委員長)
 小路政敏 酒元法子
 河田信彰 志幸松栄
 宮田勝三

その他として宇出津港
 水産物鮮度保持施設、会
 計年度任用職員制度につ
 いて説明あり。

12月7日に委員会を開
 催し付託された議案10件
 を審査し全会一致で可決
 した。審査過程での説明
 は次のとおり。

平成30年度一般会計補
 正予算(第4号)歳入に
 ついて有線放送費、道路
 橋りょう維持費、土木施
 設災害復旧費などの説明
 あり。

人件費関係の一部を改
 正する条例、その他、能
 登町情報ネットワークセ
 ンター条例や能登町地区
 集会場等条例の一部を改
 正する条例などについて
 説明あり。

教育厚生委員会

田端雄市 (委員長)
 馬場 等 (副委員長)
 堂前利昭 金七祐太郎
 市濱 等 向峠茂人
 鍛冶谷真一

12月7日に委員会を開
 催し付託された議案4件
 を審査し全会一致で可決
 した。審査過程での主な
 質疑応答は次のとおり。

問 旧柳田多目的交流施設
 の解体費用はいくらか。
 旧柳田多目的交流施設
 の解体費用の追加計上が
 あるが、総額費用はいく
 らなのか。

答 当初は2700万円を
 見込んでいた。建物は、
 冬季宿舎で、小学校・中
 学校の統合により、主に
 当中学校の生徒の寄宿
 舎として、利用してきた。

問 旧真脇小学校の利用状
 況は。

答 旧真脇小学校の校舎は、
 現在どのように使用され
 ているか。

問 真脇小学校は、発掘で
 出土したものを復元する
 などの作業場として使用
 している。体育館は、避
 難箇所にもなっており、
 他にも坂坦道先生の彫刻
 の展示やドブネ收藏庫に
 トイレがないため、見学
 者のトイレの活用をでき
 ればと思う。

問 能登三郷共同墓地につ
 いて

答 墓地について、2、3
 年で返却した場合、お金
 を返すことがあるのか。
 そして新たに、40万円
 で売却するのか。関連して
 墓地管理費が、年2千円、
 10年で2万円ということ

答 だが、その金額で管理を
 していくことができるの
 か。また、管理費を10年
 以上取めることはできな
 いのか。10年後どうなる
 かわからないので、早め
 に20年分、30年分を納め
 たいという希望者がいる
 と聞いた。

問 施設は古くないので、
 草刈りや休憩施設の清掃
 などの費用が掛かる。職
 員でも対応しているが、
 舗装の補修箇所等もある
 ので、来年で降はそこ
 も費用を掛けたい。

問 墓地管理規則に10年間
 分を一括して納めてもら
 うとしか規定がないので
 出来ない。

答 小学校のエアコンは、
 教室ごとにおくものか、
 セントラル方式でパイプ
 などを使い冷気を送るも
 のなのでしょうか。

問 教室ごとです。一つの
 教室に室外機を二つずつ
 おくようなケースが多い
 です。それを職員室など
 で管理するものですが、
 集中管理システムとエア
 コン管端末を、別のメー
 カーにすると、集中管理
 のシステムに不具合が生
 じることもある。宇出津
 小学校では、メーカーに
 よって、そのようなケー
 スもあった。

10月から12月の主な議会活動

- 10月1日 石川県町村議会議長会協議会（県社会福祉会館）
- 10月4日 議会運営委員会・全員協議会・第8回能登町議会10月会議
- 10月4日 広報編集特別委員会
- 10月11日 石川県町村議会議長会臨時総会（地場産業センター）
- 10月22日 広報編集特別委員会
- 11月6日 議会運営委員会・全員協議会・第1回能登町議会11月会議
- 11月14日 北海道大空町議会
行政視察受け入れ
- 11月16日 奥能登市町議会議長連絡協議会研修会（輪島市）
- 11月20日 全国議長大会、能登地区町議会連絡会視察研修会（22日）
- 11月26日 石川県町村議会議長会協議会（県社会福祉会館）
- 11月27日 議会運営委員会
- 12月3日 議員全員協議会
- 12月6日 議会運営委員会
- 12月6日 第2回能登町議会12月定例会議（議案上程）
- 12月7日 各常任委員会
- 12月11日 第2回能登町議会12月定例会議（一般質問）
- 12月14日 第2回能登町議会12月定例会議（採決）
- 12月14日 広報編集特別委員会



能登町に自主防災の行政視察に来町された北海道大空町議会

平成30年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
30/11/01	議員懇話会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/11/06	11月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/11/27	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	-
30/12/03	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
30/12/06	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/12/06	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	-
30/12/07	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/12/11	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
30/12/14	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/12/14	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○



議案をチェック

12月定例会議の議案質疑

◎ 鍛冶谷合員一議員

農業振興費について

農林産物総合センターの冷凍設備改修に伴う事業費として、町債460万、一般財源22万、計482万が予算計上されている。

この施設はどこにあって、誰が利用して、どのように活用しているのか。その概要を説明せよ。

◎ 農林水産課長

農林産物総合センターの所在地は、上町にあり柳田植物公園に隣接した位置に所在をしています。利用者は、基本的にブルーベリーを生産されている100軒

くらいの方で、そういった方が収穫した果実をセンターに納めています。センターを指定管理している能登町ふれあい公社が、

買い取ったブルーベリーを販売したり、自主事業として加工したりして活用しています。

◎ 鍛冶谷合員一議員

体育施設費について

能都野球場スコアボードの解体撤去費に120万が計上されている。撤去事業確定はどこでしたのか。事

を説明せよ

◎ 教育費国庫補助金1215万4000円は、小学校の普通教室で空調がついていない柳田小学校、小小学校、松波小学校の3校に国が臨時交付金として交付する補助金です。

◎ 田端雄市議員

特別交付金について
交付金の仕組みを説明せよ。この交付金は、事業を計画すると事業費に対して交付金額が決まっているのか。補助率は確かなものか。

◎ 教育委員会事務局長

今回補正に計上した補助金については、国からの補正ということで新しく平成30年度の新規事業として採択をお願いしたところ、国のほうから整備するべきということで指導があったものであります。

◎ 企画財政課長

過疎地域自立促進特別事業基金繰入金を財源としています。

◎ 教育委員会事務局長

当初は修繕を考えて予算計上していたが、腐食の状態が激しく、今年開催された大会では、危険ということで、足場を設置して臨時的に対応した。残してほし

いという意見等もあるが、管理者としては危険なものは解体したほうがいいという判断で、修繕ではなく解体する方向としました。

◎ 田端雄市議員

ただ、球場については今後もこれまで通り利用していただきたいと思えます。

◎ 田端雄市議員
教育費国庫補助金の対象

から内示をいただいたものであります。

補助率については、申請した中で事務費が幾らかカットされているということとは聞いています。今回、冷房設備の設置事業における国の交付金においては、全国の自治体に広く交付しようとするもので、通常の国庫補助金と異なり交付金の全体枠の中で配分していると考えられます。

◎ 田端雄市議員

公債費について
2億1913万のその他の財源を説明せよ。

◎ 企画財政課長

財源充当で、公債費の充当です。17款2項2目の減債基金繰入金で2億2200万が充当されたものです。

◎ 宮田勝三議員

能登町分担金及び負担金徴収条例の一部を改正する条例について
第6条中に「当該事業の計画において予定した用途以外の用途に供するために所有権の移転等をした場合」とあるが、予定した用途以外とは米づくり以外のことか。また、所有権の移転ですが、集積農家100%を目指すような今の圃場整備で、中には集積農

家が持ち分の田を売ることも考えられる。小さな面積で新たに出てくる中間管理機構と個人的に簡単に登記変更、売買契約できる状態なのか。

◎ 農林水産課長

条文の用途以外の用途に供するために所有権等の移転等があった場合には特別徴収金を徴収するというのは、所有権の移転がだめとかそういうことではなく、例えば駐車場や宅地として整備するなど、水田や畑などの圃場整備目的以外で所有権を移転することは特別徴収金がかかるということ

◎ 農地中間管理機構との契約の内容については、原則契約期間は15年とし、やむを得ず契約を解除しなければならなくなった場合などについては特別徴収金を徴収させていただきます。

◎ 向峠茂人議員

小学校の空調設備について
全国の市町もこの事業に一齐に取り組んでいる。子供たちの学校生活に支障のないような入札日程になっているか。どの業種においても人手不足が懸念されているが、早期に仕上げるのであれば一般公募もやむを得ないと考える。遅延のないよう、速やかに設計業務及び工事施工せよ。

◎ 教育委員会事務局長

設計につきましては、今年3つの小学校の設計を早めるべく先もって進めてきました。全国的に空調を設置するというところで、機材が足らなくなったり、工期的にも大変厳しいことが懸念されるが、早期に設計を完了して、発注に向けて努力しているところであります。

◎ 酒正法子議員

海洋教育推進事業について
中谷財団の助成交付が決定したとあったが、中谷財団とはどういうところか。

◎ 教育長

学校に対して補助をしている中谷医工という機関です。学校に対して理科教材のための補助をしているということ、4、5年前に東京大学の日置教授に勧められました。補助の目的が海洋教育も対象ということで、最初2年間の事業費として、初年度が80万、次に100万ついたらと記憶しています。その後、この事業は補助の助成が一団体一度のみとなっており、申請者を町から小小学校に変えて事業を継続しているものです。毎年100万申請しており、その充当として町の予算100万を計上しています。



インタビュー

今号は、能登町に生まれ、能登の里海について研究されている農学博士の坂井恵一さんにお話を伺いました。

（インタビュー

鍛冶谷 眞一）



のと海洋ふれあいセンター 坂井 恵一さん

何をされている方ですか？
海の動植物と自然環境を研究しています。

お勤めはどちらですか？
石川県が能登町越坂に設置した「のと海洋ふれあいセンター」の普及課長です。オープンは平成6年、この4月で25周年を迎えます。

当センターは、石川県の海岸と海藻類が生育する水深約20mまでの海の動植物と自然環境に関する調査研究、そして日本海と能登半島の海の魅力を発信しています。

そこではどんな事をされていますか？
磯の観察会や生き物や海藻を使った調理体験、塩づくり、そして夏休み期間はスノーケリングなどもやっているのです、児童生徒の皆さんにも楽しんでもらえたいと思います。

また、海の生き物図鑑やテキスト、能登の海の情報誌「能登の海中林」（既刊49号）などを作成しています。

能登の海洋資源や里海について
能登の海って凄いですよ。春になればアカモク等のホンダワラ類が長く伸び、海面を覆います。実はこのような景観、世界でも類を見ない特徴なのです。例えば、北海道はコンブ類、伊豆などの太平洋沿岸はカジメ類が優占し、沖縄ではサンゴ礁の海が変わります。各地の海が、その海洋環境

に依って形成された、固有の特徴を持つ海なので。その海の恵みを活用する営みの成果が「能登の里海」だと私は考えています。外浦の塩づくり、内浦の定置網漁、七尾湾のなまこの加工とボラ待ち櫓など、各地域の地勢と歴史に応じて、趣を変えて海の活用と生業が伝えられて来たのです。

と海洋ふれあいセンターの2019年の初夢は？
沢山の方々にご来館いただき、能登の海の豊かさと素晴らしさを紹介したい。また能登町が取り組んでいる「海洋教育」にも積極的に関わっていきたくと思っています。もちろん、海の自然体験を希望する個人や団体には、県内、県外を問わず対応します。設置から25年が経過しているので、展示内容や映像システムを最先端で魅力あるものにリニューアルしたいと希望しています。

能登の海って凄いですよ。春になればアカモク等のホンダワラ類が長く伸び、海面を覆います。実はこのような景観、世界でも類を見ない特徴なのです。例えば、北海道はコンブ類、伊豆などの太平洋沿岸はカジメ類が優占し、沖縄ではサンゴ礁の海が変わります。各地の海が、その海洋環境に依って形成された、固有の特徴を持つ海なので。その海の恵みを活用する営みの成果が「能登の里海」だと私は考えています。外浦の塩づくり、内浦の定置網漁、七尾湾のなまこの加工とボラ待ち櫓など、各地域の地勢と歴史に応じて、趣を変えて海の活用と生業が伝えられて来たのです。

次の定例会議は3月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

張り詰めた冷気が肌をさす。今日は『のちよう議会だより』の編集会議です。昨秋の町議選で選ばれた新人議員のお二人も広報編集特別委員会の一員として仲間入り。雰囲気も変わり心地良い緊張感に包まれています。これを機に親しみやすい誌面、充実した誌面をお届けしたいと志を新たに新年の編集後記といたします。
委員 鍛冶谷 眞一

広報編集 特別委員会

- 委員長 酒元 法子
- 副委員長 堂前 利昭
- 委員 吉田 義法
- 馬場 等
- 河田 信彰
- 鍛冶谷 眞一